

雄物川流域を支える存在として未来へつなぐ

湯沢市の森林は雄物川の源流域に位置し、地域の農業や市民生活を支える重要な基盤です。森林は、二酸化炭素を吸収するだけでなく、土砂災害防止や水源のかん養といった多面的な機能を果たしています。その価値は、今後さらに高まるものと考えられます。



持続的な森林管理を実現する

森林を豊かな姿にするためには、長期間にわたり適切に維持管理していくことが不可欠です。森林の適切な維持管理を進めていくために、林業だけでなく観光や教育など多様な関係者や市民が協力し、新たな手法を取り入れながら、持続可能な森林管理を実現します。

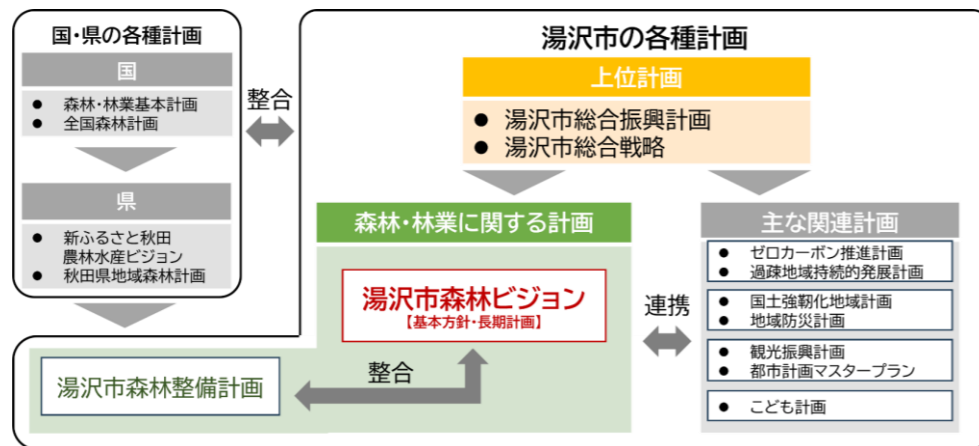
湯沢市森林ビジョンとは

森林整備や森林の利活用について **長期的な視点に立ち効果的な取り組みを進めていくため**、森づくりの基本理念や進むべき方向性を示した総合的な計画として「湯沢市森林ビジョン」を策定・公表します。

湯沢市森林ビジョンの位置づけ

上位計画である「湯沢市総合振興計画」と「湯沢市総合戦略」に基づき、森林・林業分野に関する計画として位置づけます。

国や県の各種計画との整合を図り、関連する分野の計画とも連携し、長期的な視点に立って施策を推進していきます。



湯沢市森林ビジョンの期間

100年先の森林・林業の目指すべき将来像を見据え、**実現に向けた取組の第1段階として位置付けるもの**です。今後25年間を第1期計画期間とし、将来像の実現に向けた基盤形成期間として施策を推進していきます。5年ごとに進捗評価と計画の見直しを行い、社会情勢や森林を取り巻く状況の変化に対応します。

期間区分	計画期間
第1期	2026 (令和 8)年 4月1日 ~ 2051 (令和 33)年 3月31日
第2期	2051 (令和33)年 4月1日 ~ 2076 (令和 58)年 3月31日
第3期	2076 (令和58)年 4月1日 ~ 2101 (令和 83)年 3月31日
第4期	2101 (令和83)年 4月1日 ~ 2126 (令和108)年 3月31日

森林ビジョンの基本理念

安定した林業・木材産業の実現に加え、**あらゆる人々と森林との関わりを深めること**で、新たな森林管理の姿を創り出していきます。雄物川の水源林が未来にわたりその機能を発揮し続けるよう、守り育てていきます。

豊かな森林を未来へ



ビジョンの基本理念および森づくり方針

I 循環する森づくり ~安定供給体制の構築~

拡大が見込まれる市産材需要に答えるため、川上から川下の連携を強化し、安定供給体制を構築することで、限られた木材生産適地での循環利用の実現をめざします。

II ひととまちが豊かになる森づくり ~森林の活用促進~

地域の人びとが多様な形で安定して森づくりに関われる環境や、持続可能な林業を軸とした地域経済に還元される仕組みの構築をめざします。

観光や教育、福祉活動の場として森林を活用することで、ひと・まちと森とのつながり強化をめざします。

III 自然と共生する森づくり ~公益的機能の維持強化~

持続可能な水源林の保護と公益的機能の維持・強化のため、市民のさらなる意識向上を図り、森林の適切な利活用を進めることで継続的な管理の実現をめざします。

森林の現状と目指すべき森林の姿

本市の森林は雄物川の源流域に位置しており、地域の農業や市民生活を支える重要な基盤です。こうした**森林の機能を十分に発揮できる状態で未来に残していくことが重要**です。本市は市内民有林を「木材生産林」「環境林」および「里山」の3つに区分し、それぞれの目指すべき森林の姿の実現に向けて取り組んでいきます。



湯沢市の森林・林業の課題 森林の現状及び取り組みに基づき、本市の森林・林業の課題を大きく3つに整理しました。

【課題1】木材の安定供給体制の構築

森林資源を活用するためには**循環を適切に維持し林業の発展につなげることが重要な課題**です。

【課題2】森林空間の活用促進

本市には森林を活かしたキャンプ場や登山道等が整備されています。森林空間の利用促進は、地域の振興だけでなく、**市民が地域の森林に親しみを感じ、共に守り育てる意識を高めるうえで重要な課題**です。

【課題3】公益的機能の維持強化

本市の森林は、里山の未整備や木材の活用不足、病虫害や野生動物の被害、山地災害のリスク、管理体制や資金の不足といった問題を抱えています。**森林の様々な機能を維持するため、整備と活用の両面に対応を進めることが課題**になっています。

個別施策の推進計画 上記の課題を受け、本市のめざす森林の姿の実現に向けて以下の通り基本方針ごとの個別施策を策定します。

基本方針	施策の方向性	個別施策	評価項目	第1期 KPI				第2期 2075年度の目標値 (50年後)
				2025年度 現状	2030年度 5年目(計画見直し)	2040年度 15年目	2050年度 25年目	
Ⅰ 循環する森づくり	1-1. 担い手が安全で安心できる労働環境・収入の確保	1-1-1 作業負担の軽減と作業体制の改善	既存の林業従事者向けの技術研修の実施	—	1回/年	2回/年	2回/年	2回/年
		1-1-2 安全対策、教育の強化	実践的な安全講習の実施	—	1回/年	2回/年	2回/年	2回/年
		1-1-3 個人、小規模事業者の独立、経営支援	現場作業の人員数 (内、市内民有林の施業に関わる作業員数)	117人 (約23人)	157人 (31人)	190人 (38人)	200人 (40人)	262人 (52人)
		1-1-4 市外からの新規採用支援						
		1-1-5 新規就労者支援						
		1-1-6 多様な働き方支援						
	1-2. 森林施業の合理化	1-2-1 生産技術や設備の高度化	スマート林業普及の検討	—	森林クラウドの普及・導入の試験の推進	現場への実装	現場への実装 (市内全事業者での導入)	市内全事業者での導入
		1-2-2 森林経営管理制度のさらなる促進	主伐面積(市内民有林)	60 ha/年	60 ha/年	70 ha/年	85 ha/年	90 ha/年
		1-2-3 再造林コストの削減	民有林人工林における森林境界明確化実施率(地籍調査含む)	13%	45%	85%	100%	100%
	1-3. 市内および近隣地域での安定供給体制の確立	1-3-1 湯沢市産材の新規需要創出	再造林率(市内民有林)	30%	35%	45%	70%	100%
			苗木供給本数(市内民有林)	46,000本/年	46,200本/年	69,300本/年	130,900本/年	198,000本/年
			地域産材活用促進事業による地域産材使用量	41m ³ /年 (令和6年度時点)	150m ³ /年	150m ³ /年	150m ³ /年	150m ³ /年
1-3-2 川上から川下の連携強化	川上から川下での定期連絡会の開催	3回/年	4回/年	4回/年	4回/年	4回/年		
	1-3-3 木材輸送コストの削減	市内の林道・作業道の改修および延長本数	—	6本	16本	26本	40本	
Ⅱ 豊かになるまちが 自然と共生する森づくり	2-1. 森林空間の利活用促進	2-1-1 森林空間の活用機会の創出	森林空間を活用したイベント開催回数	4回/年	6回/年	8回/年	8回/年	8回/年
		2-1-2 森林空間の整備促進	森林基盤施設の整備件数	3施設	3施設 (品質向上を図る)	4施設 (既存施設の品質向上と施設の充実を図る)	5施設 (既存施設の品質向上と施設の充実を図る)	5施設
	2-2. 森林の魅力と市民の関心向上	2-2-1 子どものふれあい機会の創出	森林教育・体験参加校数	1校/年	3校/年	3校/年	3校/年	3校/年
		2-2-2 木や森と親しむ場の創出	公共施設等への地域材活用導入件数(累計)	11件	20件	27件	28件 (各施設で木育空間の整備を推進)	28件 (各施設で木育空間の整備を推進)
		2-2-3 森林所有者の関心向上	所有者相談・交流会回数	1回/年	3回/年	3回/年	3回/年	3回/年
	2-3. 市内外の関係人口の創出	2-3-1 多様な主体との連携機会の創出	市民参加型森林活動への参加者数	約20~30人/年	50人/年	80人/年	100人/年	100人/年
2-3-2 市外との連携強化		市外向け交流イベント開催数	約1回/年	2回/年	4回/年	4回/年以上	4回/年以上	
Ⅲ 自然と共生する森づくり	3-1. 森林利用と環境の共生	3-1-1 森林の多面的利用の需要創出	森林資源や価値を活用した新規事業数(累計)	0件	3件	5件	5件	5件
		3-1-2 里山整備重点地区における整備促進	里山整備・管理実施面積(累計)	407 ha	550 ha	800 ha	1,000 ha	1,000 ha
	3-2. 健全な森林環境の整備	3-2-1 生物多様性の向上	生物多様性保全取組件数	2~5か所/年	5か所/年	5か所/年	5か所/年	5か所/年
		3-2-2 山地災害防止の推進	防災・減災対策林班面積(累計)	—	100ha	350ha	600ha	975ha
	3-3. 長期的な公益的機能の維持増進	3-3-1 森林の用途に応じた管理の推進	林業経営に適さない森林の管理面積(累計)	約24 ha (令和6年度時点)	50 ha	250 ha	450 ha	450 ha
		3-3-2 地域人材との連携	森林ボランティア活動団体への支援、連携件数	2件~3件/年	5件/年	5件/年	5件/年	5件/年